

1 単元名 「データの活用」

2 題材について

第6学年の「データの活用」のねらいは、「目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察すること」である。今回は、給食室の残菜を題材にする。毎日サラダ(野菜を中心とした副菜)が給食に出ているのだが、日によって余り具合が違うことが度々教室でも話題になっていた。人気のあるサラダとそうでないサラダがあることは感覚的に掴めているものの、同じサラダでも日によって余り具合が違う場合がある。また、栄養教諭に話を聞くと、野菜の残量が20%を超える日が例年に比べて多いと感じていると言う。子どもたちにとっては毎日食べてきた給食だけに実感が持てる題材であり、自分事として捉えやすいと考え、給食の問題に取り組むこととした。

給食の問題はよく見聞きするが、その多くは最終的に児童の意識や努力に任され、一時的に解決に向かうように見えるが、持続可能なものになっていない。栄養のバランスや食の経験という学校給食の在り方を踏まえて、継続可能なシステムや献立の工夫を提案、試行、妥当かどうかの吟味や振り返りまで、一連の統計的な問題解決のプロセスを経験させたい。そして、給食の献立がどのように作られているか、ということも含め、教科横断的な学びや、計画を立てたりする過程で批判的な見方ができるように促していきたい。

3 学習指導計画(9時間目/全12時間)

- 第1次 けん玉大会の優勝予想をしよう …3時間
- 第2次 給食の野菜問題を解決しよう …本時6/9時間

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・データの特徴や傾向に着目して予想した問題の原因と提案について、その後のデータをもとに吟味し、妥当性について批判的に考察し、提案内容を修正する。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 活動の過程を簡単に振り返り、1月~2月前半のデータを共有する →個別にデータを見る時間を取る(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物等で問題解決の過程がいつでも振り返れるように工夫する。 ・時間の都合上、各グループの発表は行わずホワイトボードを前に掲示する。 ・意見に対しては、見とった視点や根拠が不明瞭な場合は質問するよう促したり、教師から問うたりする。
2 各グループでデータを見て話し合う(10分) → わかったことをホワイトボードにまとめる	
3 練り上げ(共有・質問・意見交換…15~20分)	
4 3で明らかになった次の問いや提案の修正、見直すべき点を全体で確認した後、振り返りの記述(5~10分)	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

「データの活用」の教材について、子どもたちの数学的コミュニケーションの様相について